

社協だより

福祉

とさちよう

No.102

令和元年 9 月発刊

夏休みプロジェクト 2019
せど・いしはら・じぞうじ



今年も三地区で開催されました「夏休みプロジェクト」！
地域の自然や人とふれあいながら、たのしい夏休みの思い出
をつくることができました。

土佐町社会福祉協議会・ボランティアセンター

〒781-3401

土佐町土居 206 保健福祉センター内
82-1067 82-1069 (FAX)

e-mail tosasameura@shirt.ocn.ne.jp



社協 facebook はこちらから→



第2次社協強化・地域支援計画を策定

社協の役割・社協の仕事を見直し、住民の皆さんの期待に応えられるように一層努力していきます。

私たちは、

- ①住民から信頼される社協に
- ②その人らしい自立した暮らしの実現
- ③住民・行政と一体となった地域福祉の推進

この三つの目標を柱に、平成27年度から各年度ごとに、何がどのようにできたのか、また出来ていないことは、なぜできなかったのかを検証しながら、役職員一体となって取り組んできました。益々深刻化する福祉課題が山積する中、「やっぱりここにおってよかった」と言える町にするためには、今後どのようなサービスや事業が必要なのか、職員同士真剣に話し合い、5年計画の策定（令和2年度～令和6年度まで）にむけて、準備を始めています。住民の皆様のご期待に添う活動を進めて行くためには、皆様の声が一番大切にしていきたいと考えています。

皆様のお声

を社協に届けて下さい。
フェイスブック・メール・電話、手紙・はがきなんでもかまいません。また、職員に直接お話しただいてもかまいません。
また、社協の活動をもっと知りたいという声が上がった地域には直接出向いて説明をさせていただきます。
地区長様を通じて、ご連絡下さい。

事業報告・計画等資料

は、いつでも社協事務所でご覧いただけます。また、インターネット（社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム）やフェイスブックでも検索できますので、是非ご覧ください。事業報告や決算報告がご覧になりたい方には事務所でお渡しできます。

こんな声が届きました。

- 社協の職員はようやってくれゆけんど、男の人は仕事をしたいけ、あったかへはでていかんのじゃ。
- 社協は色々やりゆうけんど、仕事は幅が広いので、ようわからん。
- 社協の人がでてきてくれて、助けてくれるので、なんとか地域の活動ができゆ。これからも助けてもらいたいと思う。
- 訪問をしてきて話を聞いてくれゆのが助かる。
- 車に乗れんなったらどうするのか、課題が増えると思う。
- 集いはできるだけ近いところでやったら行きよい。ちょっこり行ける所が欲しい。
- ちょっとした困りごとを頼みたいことがある。けんど家の中をいっぱいにしちゅうき、恥ずかしい。

お気軽に社協に

「こんなこと、聞いてもいいだろうか」「どこに行って話たらいいかわからん」そんな時はまず、社協にご相談下さい
車の便がない方など、家で相談したい場合はお宅にこちらから出向くこともできます。

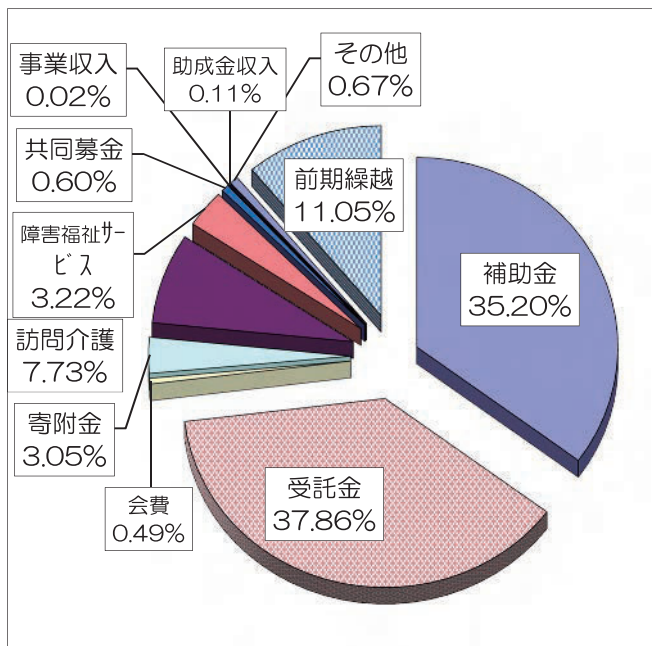


収 支 報 告

収入の部

合計金額

88,869 千円

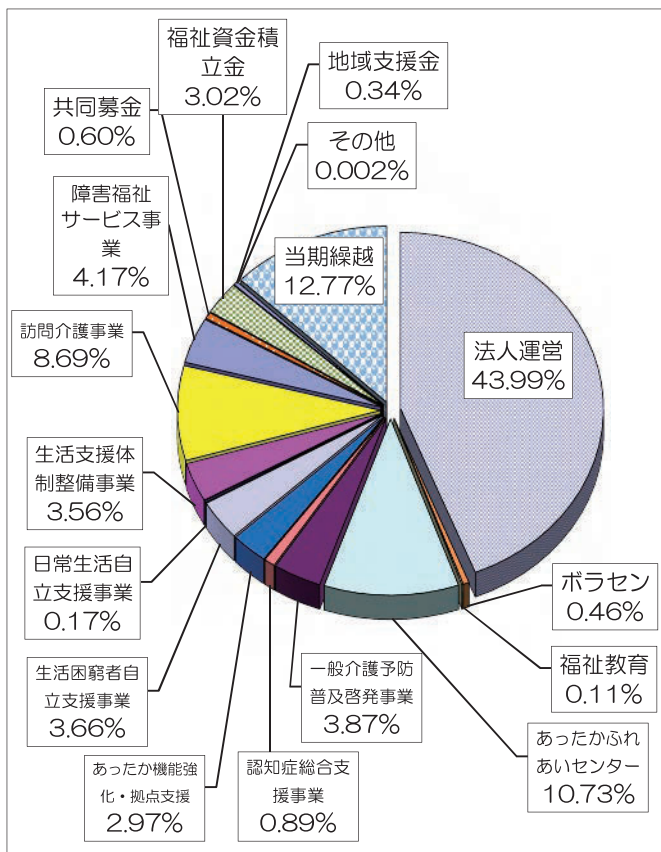


補助金	31,282 千円
受託金	33,646 千円
会費	432 千円
寄附金	2,714 千円
介護報酬等	6,863 千円
障害福祉サービス	2,862 千円
共同募金	533 千円
事業収入	18 千円
助成金収入	100 千円
その他	599 千円
前期繰越金	9,820 千円

支出の部

合計金額

88,869 千円



法人運営費	39,093 千円
ボランティアセンター	413 千円
福祉教育	100 千円
あったかふれあいセンター	9,540 千円
一般介護予防普及啓発事業	3,438 千円
認知症総合支援事業	791 千円
あったかふれあいセンター(機能強化/拠点支援)	2,636 千円
生活困窮者自立支援事業	3,250 千円
日常生活自立支援事業	148 千円
生活支援体制整備事業	3,160 千円
訪問介護事業	7,720 千円
障害福祉サービス事業	3,709 千円
共同募金	533 千円
福祉資金積立	2,684 千円
地域支援金	300 千円
その他	2 千円
当期繰越金	11,352 千円



実施事業

福祉教育・ボランティアセンター事業・一般介護予防普及啓発事業・認知症総合支援事業
 訪問介護事業（介護保険・自立生活支援・介護予防事業）
 障害福祉サービス事業・相談支援事業（障害者・児）・生活困窮者自立支援事業
 日常生活自立支援事業・あったかふれあいセンター事業・生活支援体制整備事業
 あったかふれあいセンター機能強化・拠点支援事業・老人給食・地域の集い活動支援
 社会福祉大会・心配ごと相談所・総合相談窓口・広報活動・団体事務局・その他福祉事業

※ 事業報告書・決算報告書等は社協事務所にてご覧いただけます

土佐町社会福祉協議会は こんなことをしています。

社協

使命

理念

事業

地域福祉を推進する（地域における課題を住民の皆様と共に解決するために活動）民間団体です。

「やっぱりここにおってよかったねえ」と言える福祉の町づくりを地域の皆様と共に

- 福祉の心を育てる町に
- 生きがいと安らぎのある町に
- だれもが安心して生活できる町に
- 子どもたちが健やかに育ち 青年が輝ける町に



民間の力を発揮し、社協だからできる・社協ならではのあらゆる事業に取り組んでいます。

●訪問介護事業所



訪問介護員を配置し、住み慣れた家で暮らしたいという願いを叶えるため、出来るだけ自立した生活をおくれるように計画に沿ったサービスを提供しています。

●心配ごと相談所

月1回相談所を開設しています。本人が解決にむけて行動できるよう、行政相談員・人権擁護員・消費生活相談員・心配ごと相談員らがあらゆる困りごとの相談に対応しています。

●車椅子貸し出し

9台保有し、必要な方に無料で貸し出しています。



●各団体の事務局

団体の活動を活性化し、地域活動がより活発にできるよう支援を行っています。

日本赤十字社土佐町分区・土佐町共同募金委員会・土佐町民生委員児童委員協議会・土佐町老人クラブ連合会・土佐町身体障害者協議会・土佐町遺族会

●指定特定相談支援事業所（障害）



障害のある方やご家族が障害福祉サービスを利用するにあたって、相談が出来る窓口です。一人ひとりに適したサービス利用計画をつくっています。

●老人給食サービス

地域のボランティアの皆様の協力により、85歳以上の独居でお弁当を希望される方に月2回無料で配食し、見守り活動を行っています。



●小口生活福祉資金貸付事業

低所得者の在宅生活の自立更生を図るため、相談に応じ資金貸付と生活にあわせた償還指導に取り組んでいます。

●地域福祉活動計画推進 地域活動支援交付金事業

地域福祉コーディネーターを配置し、行政や各団体との協働をすすめながら地域福祉活動を推進しています。

旧小学校区ごとの活動計画を策定し計画の実行にむけた活動が住民主体で実行できるように支援しています。また、各団体に地域活動を円滑にするための資金を助成しています。



県・町がすすめる事業を受託し、住民の皆さん・行政・杜協と手をとり合いながら取り組んでいます。



●あったかふれあいセンター事業

サロンコーディネーターを配置し、旧小学校の校舎を利用して、赤ちゃんからお年寄りまで、誰もが集い助け合い、支え合う場をつくっています。10か所で年間延べ約9,000人の方が利用しています。年に一度取り組みの成果を集め、フェスティバルを開催しています。

●ボランティアセンター事業

ボランティアコーディネーターを配置し、ボランティアの育成や活動支援を行っています。また、学校における福祉教育（地域貢献）活動も支援し、次世代に福祉の心を育てる活動を行っています。さらに、ボランティア団体や、NPO団体等と連携し、町づくり活動の活性化にむけて協働しています。



●一般介護予防普及啓発事業

健康づくりに関する学習や、各集いでの体操教室をはじめ、生きがいづくりに向けたあらゆる取り組みをしています。住民が手を取り合いながら互いに健康づくりの取り組みを進められるように支援しています。

●認知症総合支援事業

認知症になっても、安心して暮らせるよう、まず「認知症」に対し、理解してもらえるように、学習活動や見守り活動に取り組んでいます。また、介護者の家族会・保健・福祉・医療関係者が連携してサポートできるようにネットワークづくりにも取り組んでいます。



●生活支援体制整備事業

生活支援コーディネーターを配置し、ご自宅への訪問をするなどして、困りごとの相談を受け、行政と連携して対応しています。また、地域包括支援センターと連携し個々の生活支援について協議をすすめ、地域における見守り活動を推進しています。

●生活困窮者自立支援事業

相談支援員を配置し、本人・ご家族からの相談を受けて、県・町と連携しながら、支援プランを作成します。暮らしの立て直しにむけ、伴走的に寄り添いながら自立した生活をおくれる様に支援を行っています。



●障害（児）者相談支援事業一般相談

相談支援員専門員を配置し、日常の不安や困りごとの相談を受けています。障害のある方ご本人と家族からの相談を受け、保健師・教育委員会等と連携しながら支援を行っています。

楽しく集えて、笑えて、面白い、そしてためになる 土佐町老人クラブ連合会

会員募集



会員になって一緒にクラブ活動を楽しみましょう！！
概ね60歳以上であればどなたでも会員になれます。
入会希望の方は、お気軽に各クラブ会長さんへ！
クラブがない地区の方は個人会員として入会できます。

会員状況
(平成31年4月現在)
男性：219人
女性：319人
合計：538人

老人クラブに入って良かった！と言える
さらに魅力ある活動を展開していきます！
クラブ活動の一部をご紹介します！

ダンスクラブ



ダンスインストラクター指導の下、踊ります。大会などで発表し拍手喝采をあびる爽快感！
いつまでも若々しくいられます。今年度は、老人クラブ大会において「愛燦燦」を披露しました！

SONG クラブ

定期的集まって童謡を中心としたレッスンに励んでいます。
歌を通じた生きがいづくりや仲間を増やしています。



花クラブ

花クラブの会員は、花の寄植えやフラワーアレンジなどを行って楽しんでいます。花の育て方を学んだり、花好きな方が互いに情報交換をして楽しめます。



居酒屋クラブ

乾杯～！土佐町を盛り上げていくで～！

お酒もあって、いろんな話ができてえい！



皆でワイワイ楽しくやりゆう！
居酒屋クラブに入らんかよー？

男性が参加する機会が少ないということから、男性も気軽に楽しめる場づくりとして、居酒屋クラブがあります！
本山町と合同開催しています。

他にも、映画クラブやグラウンドゴルフクラブがあります。
今年度からスマホクラブ、もったいないクラブも立ち上げる予定です。

無料スマホ教室



スマホを使って、皆と楽しく電話やゲームをしてみましょう！仲間同士のつながり作りにもなります♪基本から応用まで、段階を分けて行います。貸し出し用のスマホもご用意しておりますので、スマホをお持ちでない方もご参加いただけます。20名に達した時点で締切とさせていただきます。

場所：土佐町保健福祉センター2F あじさいホール

日時：①令和元年 9月24日（火） 基本編

②令和元年 10月29日（火） 応用編①

③令和元年 11月26日（火） 応用編②

14時～16時

対象：老人クラブ会員 ※3回スマホ教室を開催しますが、内容は毎回異なります。
ドコモ以外の機種をお持ちの方もOKです

講師：ドコモショップ高知インター店

お問い合わせ・申込み先 土佐町社会福祉協議会内 土佐町老人クラブ連合会

私たちの
私たちによる
私たち・地域のための

地域福祉活動計画

地域福祉活動計画は、住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、みんなでできる事を“力を合わせて”取り組んでいく地域住民の主体的な活動を推進する計画です。

現在土佐町では、第5次地域福祉活動計画（H27～31年度の5か年）を策定し、旧小学校区別に活動目標の達成に向けた取り組みが展開されています。

地域の皆様からのご寄附の一部は「福祉基金地域支援金事業」として、活動目標の達成にむけて取り組むための助成金として活用されています。今年度は、瀬戸・相川・森小学校区の計画を推進する団体・組織より助成金申請がありました。

活動紹介

旧相川小学校区「愛校作業」



旧相川小学校区では、相川4地区長会を中心として2年前より愛校作業が行われています。コミュニティの拠点である旧相川小の清掃作業を通じて、地域のつながりづくりにもなっています。作業には、毎回子どもから大人まで60人以上の参加があり、地域行事として定着しつつあります。また、活動計画の取り組みを通じて相川地域のPRを目的とした任意団体「相川ららら」が立ち上がり、特産の米などをPRするイベントを実施しています。

第6次地域福祉活動計画の策定が始まります

第5次計画の期間満了に伴い、第6次計画の策定が始まります。「やっぱりここにおいてよかったねえ」と言える福祉のまちづくりを目指して、各小学校区にて活動目標を策定する懇談会を予定しています。

まずは、行政が予定している住民ワークショップにて、多くの方々の地域への想いや地域の将来像について語り合い、活動目標策定の懇談会につなげたいと思っています。

皆様のご参加をお待ちしております。

策定スケジュール(概要)

住民ワークショップ

行政が実施する、住民ワークショップに合わせて、地域の現状や将来像について話し合います。



まちづくり
委員会
ワーク
ショップ
内容の
整理

活動計画策定 懇談会

旧小学校区単位で、開催。第5次の振り返りと、活動目標の策定を行います。



まちづくり
委員会
懇談会
内容まとめ
評価委員会
開催

活動計画策定

社協理事会、策定委員会を経て活動計画策定。冊子（概要版）を作り、全戸に配布します。

10月

12月

1月

3月

4月

7月



ボランティアセンターより



ふくし・ボランティアワークキャンプ開催

7月29日、30日小学4年生から6年生を対象とした「ふくしとボランティアを学び、体験する」ワークキャンプを開催しました。13名の参加者はふくし・ボランティアについての基本的な知識を学んだ後高齢者疑似体験を行いました。疑似体験セットを装着し、実際に町にでて自分たちが夜食べる食材を購入しました。

「ふくし」ってどういう意味が分からなかったけど「ふだんのくらしをしあわせに」という事が分かりました。



ふくし・ボランティアについての講話

午後からはプールで汗を流し、すっきりした後はボランティア活動体験。熱中症予防のパンフレットや塩分チャージのタブレットを持って、グループに分かれ、地域のボランティアさんと一緒に石原地域を一軒一軒訪問しました。子ども達は少し、緊張しながらも午前中に学んだことを活かしながら「こんにちは～熱中症予防のパンフレットを配っています。熱中症には気を付けてください」と元気に声かけをしました。

ふくしやボランティアのことが分かりました。人の役に立てることをしたいです。



←高齢者疑似体験中↑

夕食のカレー作りは自分たちで手分けして作り、近所の方をお招きして一緒に食べました。夜は体育館にテントを張って友達と一緒に就寝。寝袋で寝るのが初めての子もいたり、ちょっぴり緊張しながらも友達と楽しい夜を過ごしたようです。

困っているひとがいたら、自分のできる事をみつきたいです。



「こんにちは～」と元気よく訪問



協力しあって準備したテントの中で



カレー作りに奮闘中



「みんなで食べたき、美味しかった！ありがとう」



子どもたちに「新しい事に出会い、チャレンジする2日間」と題して実施したワークキャンプ。1泊2日という短い時間でしたが、子どもたちは「ふくし」「ボランティア」について学び、体験しそして多くの人と出会い、一回り大きく成長したように感じます。土佐町ボランティアセンターにとっても初めての挑戦であったワークキャンプ！石原の地域の皆様をはじめ、親切に対応して頂いたサンシャイン田井店様、さとのみせ様等、たくさんの方々に支えて頂き無事終了することが出来ました。ありがとうございました。

訪問介護のお仕事について

★訪問介護とは・・・被介護者（要介護者・要支援者）が、自宅で自立した日常生活を送れるように生活を支援することを目的として、介護福祉士（ケアワーカー）や訪問介護員（ホームヘルパー）が、ご自宅を訪問し、食事・入浴・排泄など直接身体に触れる身体介助をはじめ、掃除・洗濯・調理などの家事面における生活援助等を行うサービスです。

訪問介護は、「できない家事」を代わりにする、「動かせない身体」を動かさなくていいようにするものではありません。サービスを利用する事で要介護度が進まずに維持することが真の自立支援です。ご利用者が持てる力を生かし、本人ができることは本人が行い、できない部分を支援することが介護の基本です。

訪問介護の仕事の一部である「生活援助」は、家事代行に似た部分がありますが、家政婦やお手伝いさんではありません。“要介護者の普通の暮らし”をサポートするものです。特別なことはふくまれません。例えば、大掃除や庭の草刈り、来客や家族の食事づくり、徹底的な窓拭きなど大がかりな家事は支援外になります。

介護福祉士・訪問介護員は、在宅介護を支えるプロフェッショナルです

介護サービスは、ご利用者やご家族とケアマネージャー、サービス提供責任者との間で相談の上、決められたサービスを提供します。

ホームヘルパー パート募集



週1回～
勤務できます

慣れるまでは、先輩ヘルパーと同行訪問します

8:30～17:15
の時間内での勤務
です

職 種： 訪問介護員（ホームヘルパー）
資 格： ホームヘルパー1級・2級、介護職員初任者研修修了者、介護職員基礎研修修了者、介護職員実務者研修修了者、介護福祉士
業務内容： 訪問介護全般（身体介護／生活援助／障害者への居宅介護）
賃 金： 時給1,020円
交 通 費： 社協規程により支給
諸 手 当： 処遇改善手当、インフルエンザ予防接種費 等
社協へのお問い合わせ、ご応募お待ちしております

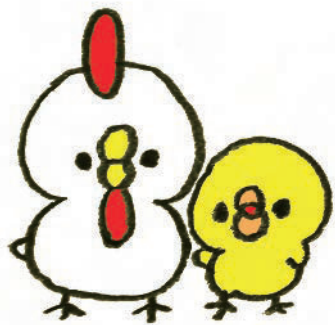
働きやすい職場を
目指しています。

未経験の方も
大歓迎！

勤務時間等、希望を
優先して働けます

訪問先は土佐町全域





ひよこぐみ写真館



しきじ
式地

ゆう
佑羽 くん

よしとか
パパ 儀高さん

あかね
ママ 茜さん

平成30年11月19日生まれ



お姉ちゃんが好きっ子。
いつもお姉ちゃんの後ろに
ついて行っています。
これからも姉弟仲良く
すくすく成長してね♪



つつい
筒井

だん
暖 くん

まさひと
パパ 理仁さん
きわ
ママ 希和さん

平成29年2月1日生まれ

お調子者の恥ずかしがりや！

お兄ちゃんが好き！これから

も元気に大きくなってね♪



社協への福祉のご寄附

自：H31 . 3 . 26

至：R1 . 8 . 31

地区名	氏名	金額	備考
南 境	川 田 満 様	200,000	香典返し
中 島	筒 井 君 子 様	100,000	香典返し
	匿 名 希 望 様	切手	社協事業へ
田 井	森 保 教 様	30,000	香典返し
上 野	和 田 勝 幸 様	米30K g	老人給食等へ
峯 石 原	仁 井 田 裕 子 様	300,000	香典返し
高 須	式 地 多 嘉 子 様	100,000	香典返し
田 井	岡 林 房 基 様	100,000	香典返し
	匿 名 希 望 様	米30K g	老人給食等へ
	匿 名 希 望 様	米30K g	老人給食等へ
田 井	佐 久 間 順 子 様	米3K g	地域行事等へ

以上の方々からあたたかいご寄附をいただきました。ありがとうございました。



日本赤十字社 土佐町分区

赤十字活動資金の募集にご協力いただきありがとうございました！

おかげさまで皆様からご協力いただき、589,634円（8月末現在）の活動資金を高知県支部に全額送金いたしました。この募金は、災害救援や献血事業など、日本はもとより海外においても、多くの人命を救う為に使われています。土佐町への交付金は、災害に関する研修、防災用品の購入や日赤奉仕団の活動費等に活用されています。



中島地区で今年度から、取り組んでいる「カレーの日」。民生委員さんや日赤奉仕団員の方などが中心となり地域のつながりづくりを目的として開催をしています。日赤土佐町分区はこの取組みを応援しています。

日本赤十字社土佐町分区長 和田 守也

令和元年度 社協会費協力をお願い！

住民の皆様と共に「ここにおいてよかった」と言えるまちづくりをめざし、役職員一丸となって福祉事業に取り組んでいます。福祉教育や社協運営に活用する為の資金として、皆様のご理解、ご協力を宜しくお願いいたします。

